

# 一般質問

## 一問一答

第11回定例会の一般質問は、3月7日・8日・12日の3日間行なわれ、15人の議員が活発な議論を展開しました。

質問順に掲載しています。また、内容は紙面の都合で要約しています。  
※詳しい質疑応答はインターネット録画中継をご覧ください（6月上旬まで）。  
議事録は6月上旬頃掲載の予定です。  
アドレス：<http://www.city.minamisoma.lg.jp/>



渡部 寛一 議員

**問** 予算編成方針では、帰還推進のために除染、がれき処理をこれまで以上に進めるとした。

その一方で、3月補正予算でこれら予算283億円を減額してしまった。これまでの戦略では進まないの明らかだ。

除染作業はゼネコン中心だ。大半のお金をゼネコンに持っていく。

除染では仮置き場を集落ごとに設けること、ゼネコン丸投げをやめて市民主体で実施すること等への方針転換が必要ではないか。

**答** 除染は竹中工務店と市復興組合との共同で実施している。

仮置き場は大規模設置としているが、市民の意見、要望により柔軟に対応する。

子どもの遊び場がない

**問** 本格的子どもの遊び場がないままで、屋内市民プール開設で、小学生からも料金を取ろうとしている。

無料にすべきだ。そのような事では、懸命に仕事をしていても、本市はよくなるまい。市長の考えを伺う。

**答** 政策全体を見渡せるように、今後ともしっかり対応する。

入所介護施設ない

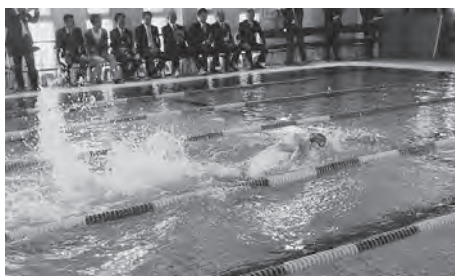
出生数は激減

**問** 介護入所施設が不足して市民は苦しんでいる。解消するための予算付けがない。帰還できるわけがない。

市民の年間出生数が激減している。これを認識しないままの予算だ。

**答** 戻れる環境整備に努めている。

市民願いと乖離する  
新年度予算



南相馬屋内市民プール（原町区）

### 質問を終えて

問題を指摘されても市長は「取り組んでいく」の前に、「今後とも」を必ず入れます。

### その他の質問

- ① 環状1号線工事は凍結せよ。
- ② ヨウ素剤を今すぐ全世界配備せよ。
- ③ 子どもの甲状腺がん検診を市独自に。



鈴木 昌一 議員

# 避難者の琴線に 触れる取組みを

**問** 環境再生への取組みにおいて、除染は最優先の課題だが、昨今除染効果に否定的・懐疑的な意見も目立つ。

**答** 今般、除染計画を改訂し、空間線量率の低減を改めて追求する本市の方針に変更はないか。

**問** 法定計画に基づき、追加被ばく線量を1ミリシーベルト以下という目標を崩すことはありえない。

**答** 大規模太陽光発電施設の建設に向けて、協定を締結した東芝は、本市の経済復興にどのように貢献することになるのか。市長は自ら地域貢献策の協議に与すべきではないか。

**問** 発電事業利益の地域への還元、関連する企業誘致と雇用の創出、再生可能エネルギーの普及啓発活動等要望しており、東芝側も市の

考えを受けとめているものと認識している。

**問** 市民の帰還促進に向けた取組みについては、特に子育て世代への対応として、甲状腺がん等健診メニューの無料化や低線量被曝市民健康手帳の発行といった、本市独自の施策が必要ではないか。

**答** 本議会において、看護師確保策として『修学資金貸与制度』の創設を提案しているが、医療・福祉・保健と教育の分野において優先的な課題に、全庁的に積極的に取り組んでいく。



仮置き場候補地（原町区グリーンパーク）

## その他の質問

①グリーンパークへの仮置き場設置決断を。

②失われた雇用機会をいかに回復するのか。

③医師は充足との市長発言は撤回すべきだ。

## 質問を終えて

市民は理不尽な原子力災害に立ち向かう勇気を失ってはいない。市長の勇気ある決断を！



西 銆治 議員

# 安全な米作りには 除染がカギ！

**問** 26年産米の作付けを目指し、本年は試験田を面的に拡大し、多くのデータ取りをする方針と言うが、基準値を超える収穫米が出たなら全数を買い上げるのか市の考え方を伺う。

**答** 100ベクレルを超えた米は全量南相馬の恵み安全対策協議会が対応する。隔離対象となる生産者に対してはふくしま恵み安全対策協議会を通じて出荷代金相当額を東電へ賠償請求し支払う。

**問** 全袋検査で100ベクレル以下の基準値内の米であっても風評被害で買って貰えない場合、市はどのように対処する考えか伺う。

**答** 市としては全農・農協を含め、買い上げについて前向きに進めている。

市として売り先については関係団体とも協

力しながら確実に販売できる道を目指す。

**問** 放射線量の高い飯館村を源流とした水や、ため池、除染の終わっていない農業用水路を使って水を流し米作りをするのは如何と思うが市の考えを伺う。

**答** 平成24年度の試験栽培でも100ベクレルの基準超え玄米はなかった。また国・県の水田



反転耕実証実験（飯館村）

## 質問を終えて

安心して米作りが出来る環境整備は絶対条件だし、安全米の販路確保に向け汗を流してね。

## その他の質問

①無償応急仮設住宅用地借上げ補償は。

②真野川漁港及び牛島地区復旧復興を。